



インスピレーションになる

2018-2019
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2540

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

7

JULY

vol.01

ガバナー月信
2018.07.01



CONTENTS

- 表紙 1
- ガバナー補佐 ご挨拶 5~6
- 富樫龍紀ガバナー メッセージ 2
- ガバナー・地区役員・地区委員長 ご紹介 7
- 国際ロータリー会長 メッセージ 3
- 7月のRIレポート、文庫通信 8
- 直前ガバナー メッセージ 4

Rotary



国際ロータリー第2540地区
ガバナー 富樫龍紀

〒014-0015 秋田県大仙市大曲白金町8-17 大曲エンパイヤホテル内
TEL: 0187-66-3105 FAX: 0187-66-3106 E-mail: rid2540g18-19@athena.ocn.ne.jp

私にできる奉仕を見つけよう

2018-2019年度ガバナー

Togashi Ryuki

富 樫 龍 紀



いよいよ2018～19年度が始まりました。各クラブの会長、幹事さん準備は整っていますか。『準備に優る成功なし』あるいは『準備と努力は、結果を裏切らない』と言います。良いスタートを切るには準備が大切です。そこで当地区ガバナー事務所スタッフも、会長エレクト研修セミナーや地区研修・協議会など重要なセミナーを実施しながら、新年度に向けて準備を進めて参りました。しかしいざスタートとなりますと、皆さんの期待に応えられるだろうかと期待と不安で一杯のようです。(実は私が一番不安なのですが)

さて、バリー・ラシンRI会長は新年度のテーマは「インスピレーションになろう」と発表されました。そして私は、地区のテーマを「私にできる奉仕を見つけよう」と決定しました。これらのテーマの主旨については、各セミナーを通じて説明をし、各項目の目標を発表させて頂いたところです。そこで各クラブの会員の皆様には、地区やクラブに何かを期待したり、求めるのではなく、ご自身がクラブや地域に対し何ができるのか、何をすべきかをしっかりと考え、行動をして欲しいのです。つまり、「私にできる奉仕」を見つけて実践して欲しいのです。ロータリアンは実践の行動人です。行動を起こし、クラブや職場に、そして地域にロータリーの風を吹き込んで欲しいのです。

国際情勢や国内情勢も不安要素で一杯です。特に秋田県は少子高齢化や人口減少など先々心配な問題が山積しています。しかしこれらを乗り越えるため

には、知恵やアイデアを出し合い、挑戦し、行動できるのはロータリアンの皆さんではないでしょうか。なぜなら皆さんは、職業を代表する人達であり、地域のリーダーにならなければならない人達なのです。一年は長いようで短いです。インスピレーションを働かせ、しっかりと計画(Plan)を立て、実行(Do)することで、評価(Check)をし、改善(Action)する。PDCAです。どうかご自身の能力・技術力・指導力を存分に発揮し、ロータリーの活動にまい進して欲しいと期待をしておりますし、皆さんの成果を楽しみにしています。

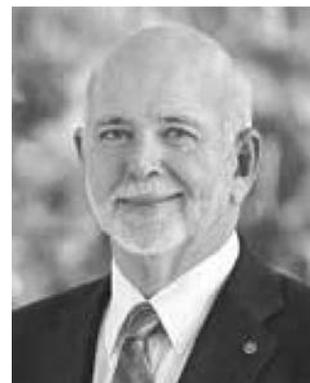
当地区には42のクラブがあります。そこでまず最初に柳谷直前ガバナーに敬意を表し、7月20日の能代RCを一番初めの訪問先として公式訪問が始まります。これらのクラブ訪問は、私にとってどんな出会いがあるのか今から楽しみにしています。と言いますのも、ロータリーは人と人との出会いが人生にとって、大きな成果と変化をもたらしてくれると信じているからです。

一期一会どうか皆様との出会いを大切に訪問を致しますので、宜しくお願い致します。

いざ出発です。私は、ロータリーの親睦と奉仕という両輪を倒れないよう全力で漕ぎ続けます。共にロータリーを楽しみましょう。 レディ・ゴー!

「BE THE INSPIRATION」

ロータリー：インスピレーションになろう



113年前の創設以来、ロータリーの役割は、世界において、また会員の人生において、絶えず進化してきました。ロータリーはその初期、会員が親睦と友情を見つけ、地域社会で人びととのつながりを築く方法を提供していました。その後ほどなくして、ロータリーに奉仕が芽生え、組織の成長とともにその影響も膨らんでいきました。間もなく、ロータリー財団の支えもあって、ロータリーの奉仕は世界中の家族や地域社会の人びとの生活を変えていくようになりました。活動の成果を高めるために、他団体とのパートナーシップや奉仕の重点分野を生み出しました。各国政府、国際団体、無数の地元や地域の保健当局と協力して、世界最大の官民協同による保健の取り組み、ポリオ撲滅にも乗り出しました。ますます多くの会員が、友情だけでなく、人助けのために行動する方法を求めてロータリーにやってくるようになりました。

ロータリーは今も、そしてこれからもずっと、ポール・ハリスが思い描いた団体であり続けます。それは、この地球上のあらゆる国の人たちが手を取り合い、自分を越えた素晴らしいことを生み出せる場所です。その一方で、今日のロータリーは、類まれな不朽の価値を提供してくれます。それは、才能、そして世界を変えようという熱意をもつ人たちの世界的なネットワークの一員となれるチャンスです。私たちは、地域社会で行動する力が世界的な影響を生み出し、力を合わせればたいのこを実現できる能力とリソースを兼ね備えています。

全世界で、ロータリーはかつてないほど重要な存在となっており、より良い世界を築くその潜在能力は莫大です。

残念なことに、ロータリーがどんな団体で、どんな活動をしているのかを十分に理解している人は多くありません。私たちのクラブ内でさえ、多くのロータリアンがロータリーについて十分に知らず、ロータ

リー会員であることの恩恵を十分に享受していません。

ロータリーの奉仕は、人びとの人生、そして地域社会を変えるものです。真に変化を生み出す奉仕をもっと実現するために、私たちは、ロータリーでの自分の役割、そして世界におけるロータリーの役割を、これまでとは違う角度でとらえる必要があります。公共イメージにもっと重点を置き、ソーシャルメディアを活用して会員基盤を築き、奉仕のスケールアップを助長してくれるパートナー組織に注目してもらう必要があります。より持続可能な影響をもたらす大きなプロジェクトに力を注ぎ、ロータリー年度や任期を超えた活動の研究と計画に時間を費やす必要があります。

一番大切なのは、前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」となる必要があるのです。

ポール・ハリスが述べたように「ロータリーは、世界平和の縮図であり、国々が従うべきモデル」です。私にとって、ロータリーは、単なる「モデル」ではなく、インスピレーションです。ロータリーは、可能性を指し示し、そこに到達する意欲を引き出し、行動を通じて世界の「インスピレーションになる」ための道を拓いてくれるのです。

2018-2019年度国際ロータリー会長

バリー・ラシン

2018-2019年度を迎えて

2017-2018年度ガバナー
Yanagiya Etumaro
柳谷悦麿



私は(RI)会長といたしまして、それぞれのロータリークラブが何をするのかということに対して、私がコントロールすることはありません。それぞれのクラブの会長が何をするのかということに対して私は提案できます。テーマを通じて、もしくは会長賞を通じてといった形で提案はできますけれども、それくらいしか出来ないのです。最終的には全てのそれぞれのクラブ、個人的なロータリアンの方々がどんなふうに奉仕をするのかというのは、その方に係っているということ、そしてロータリーではそうあるべきなのです。

2017-2018年度RI会長 イアン・ライズリー
ロータリー研究会 基調講演より

私はこれまで何となく上(RIや地区)からの上意下達によってロータリー(クラブ・個人)をやらされているような思いを抱えていました。

ガバナー(ノミニエレクト期間含む)として各種セミナー、国際協議会、国際大会、公式訪問、地区行事、周年行事、他地区地区大会に参加させていただきました。

ガバナーという立場の重さを感じながらのロータリーファーストの2年半でしたが、2つ大切なことに気づかされました。

ひとつは、自身のロータリー理解の浅さを認識し、同時に「ロータリーとは何か」という基本的な問いを持った事です。そして少しずつ意識の変化がありました。奉仕はやらされるものではなく、自らの意志で行うものであり、それが真の奉仕であるという当たり前のことです。ガバナーという奉仕の機会が与えられたという事です。私は勝手に地区奉仕(クラブ奉仕の延長?)と名付けています。

ふたつめは、ガバナーは最初からガバナーではな

く「ガバナーになっていく」ということです。地区役員、地区委員会、ガバナー補佐、地区事務所、所属の能代ロータリークラブ、そしてなんとと言っても地区内のロータリアン、更には同期のガバナー夫妻、各地でお世話になった多くのロータリアンによって変化を促され、少しはガバナーらしくなってきたのかなと思います。周囲の人がガバナーと認めて初めてガバナーはガバナーとなるのです。これは単にガバナーに関してだけではなく、人間は人との関わり、言い換えれば奉仕し、奉仕される事によって人間と言えるのだと改めて気づかされました。ロータリーの奉仕も、裕福な人が困っている人を助けると言うのではなく、人間として自然な行為ではないでしょうか。さりげなく「私にできること、クラブにできること」を行うことによって相手に変化がうながされるのです。私が皆さんによって成長(変化)させていただいたように…。

2017-2018年度の総括は「年次報告」で皆様にお伝えできると思いますが、2018-2019富樫ガバナー年度、皆さんのインスピレーションによって、私ができる奉仕を見つけましょう。

新年度にむけて、少し長めの掲示板

人間は生まれながらに平等です。かけがえのない存在として侵すべからざる人権を与えられています。しかしそのことを自覚し、少しでも自分を磨き、人の為になることをしようと努力するか、いい加減に投げやりな日を送るかで、人間の格は違ってきます。

(『女性の品格』坂東真理子)

北区（大館・鹿角分区）

大館北RC 松尾 秀正

1996年2月に大館北ロータークラブに入会させて頂き22年が経過しました。

私自身、ロータリー活動に熱心に取り組んでいる訳でもないのですが、2018～2019年度ガバナー補佐を遣らせて頂きます。

当クラブからは大先輩2名（1名は退会）の分区代理（現ガバナー補佐）を輩出しております。

大先輩から色々なアドバイスを頂きながら2018

～2019年度富樫龍紀ガバナーと北区（大館・鹿角分区）7ロータリークラブのメッセンジャーになり大館・鹿角分区の会長・幹事さんと連絡を密にしながら各クラブと共に楽しいロータリー活動を行いたいと思っております。

皆様のご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

北区（能代・男鹿分区）

男鹿北RC 佐藤 正昭

いろいろと紆余曲折の末、期限ギリギリになって、私がガバナー補佐を引き受けてしまいました。実は私は2008～10年度の2年、補佐を経験しており、今度で二回目になります。

ただ、今回は、2年間ですが北区が4分割され男鹿地区の4クラブのみの担当でしたから、かなり気も楽で、今考えてみてもどんなことをしたのか思い出せない状況です。

このたびは、能代、男鹿分区9クラブの担当となり、ガバナー訪問と補佐の事前訪問の日程表をみた時には軽いめまいを感じました。

先日、ガバナー補佐会議に続いて会員拡大増強

委員会があり、その折の桑原委員長からの「会員増強には、クラブを年に数回訪問するガバナー補佐の努力に期待…」というハッパ(?)に、さらに大きなプレッシャーを受けております。

夜の飲み会主体の我がクラブの例会に慣れてしまっている私なので、皆様の例会への訪問時には久しぶりの昼例会に戸惑い、ボーとなってしまっているかも知れませんが、ガバナー補佐の仕事として皆様のご要望を十分に聞きながら、各クラブの特徴を適格につかんで、ガバナーへ伝えて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いたします。

中区（秋田分区）

秋田中央RC 細谷 重直

2018-2019年度、富樫ガバナーの元、秋田分区のガバナー補佐を担当させて頂きます細谷重直です。

富樫ガバナーの方針に従い、またそれぞれのク

ラブの協議内容を尊重し2540地区をより発展させるよう最善を尽くしたいと思います。

皆様のご協力を宜しくお願い致します。

中区（本荘・由利分区）

象潟RC 熊谷 中

不惑の歳にロータリークラブに入会してから、14年になりますが、省みますと、小クラブ故に幹事2回、会長2回、そしてガバナー補佐も玉木ガバナー年度に続き2回目と目まぐるしいロータリー歴となってしまいました。

前回ガバナー補佐を務めていた折には訳も分からず1年が過ぎてしまいました。分区のみならず地区の多くの会員の方々と縁を結ぶことが出来、

貴重な経験を得る事が出来ました。

今回は前回の反省を踏まえ、これから1年、ロータリアンの皆さまと友情を深め、富樫ガバナーの元、優秀な同期ガバナー補佐の方々からの刺激を受け、ガバナー補佐の責務を果たして参りたいと存じます。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

南区（大曲・仙北分区）

角館RC 三浦 大英

この度、南区ガバナー補佐（大曲・仙北分区）という大役を仰せつかりました角館ロータリークラブの三浦と申します。

若輩のわたくしがこのような大役をいただき、不安と緊張でいっぱいです。

富樫ガバナーと大曲仙北6クラブの橋渡し役として微力ではありますが精一杯つとめさせていただきたいと思っております。

ロータリーに入会して10年ほど経ちますがまだまだわからない事もたくさんあります。大曲仙北6クラブのガバナー補佐経験のある方々よりいろいろ聞きながら頑張りたいとおもいます。

クラブ訪問を通して、ガバナー補佐の役割を勉強させていただきながら懇親もふかめてまいりたいと思っておりますので、どうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

南区（横手・湯沢分区）

横手南RC 加賀 清太郎

南区（横手市、湯沢市、羽後町）7クラブ約246名のロータリアンがおります。

私の役目は、地区方針が掲げた目標を出来るだけ達成することが、私に与えられた責務だと思っております。

①いろいろな事情があるとは思いますが、各クラブ2名以上の会員増強に取り組んで頂ける様よろしく願いいたします。

②富樫ガバナーの方針である「私に出来る奉仕を

見つけよう」であります。自身の積極的な行動で模範を示し、ロータリークラブの活動を地域住民に理解していただける活動を行ってみたいと思っております。

7月から各クラブを訪問し、富樫ガバナーの足かせにならない様"忬度"に努めてまいります。

どうぞこの一年間会員皆様のご指導・ご協力をお願いいたします。



ガバナー
富樫 龍紀



地区幹事
ロータリーの友委員長
加賀 美奈



地区会計長
佐藤 利昭



地区財務委員長
藤村 成



会員拡大増強委員長
桑原 透



広報委員長
春日 靖



職業奉仕委員長
池田 泰久



社会奉仕委員長
田口 憲寿



国際奉仕委員長
平元 豊



インターアクトローターアクト
委員長
黒丸 雄平



青少年交換プログラム
委員長
小池 澄夫



地区大会委員長
伊藤 正之



ロータリー財団委員長
玉木 修



ロータリー米山記念奨学
委員長
阿部 大助



ロータリー学友委員長
土田 博美



RI国際大会推進委員長
小西 誠治

ポール・ハリス語録

友 情

他者の中によい点を見つけようとする人は、自分も報われます。というのは、今度は自分の中の良い点を他者が必ず見つけてくれるからです。地上の寂しく孤独な生物の中で最も希望のないのは同胞を愛さない人です。

(ロータリアン誌、1923年2月号)

文庫通信

370号

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演より

- ◎「2人のRI会長・4つの骨の物語」 渡辺好政 2018 2p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎「家族のきずな」 今井鎮雄 [2002] 9p (D.2510RYLAセミナー)
- ◎「働く誇り」 矢部輝夫 [2014] 6p (D.2510RYLAセミナー報告書)
- ◎「大切なのは今」 黒川光博 2018 8p (D.2590地区大会の記録)
- ◎「輝いて生きる」 ジュディ・オング 2018 5p (D.2780地区大会報告書)
- ◎「グローバル化と自国第一主義」 池上 彰 2018 19p (D.2760地区大会記録誌)
- ◎「関ヶ原から読み解く日本近代史～中国地方の徳川400年」 徳川家広 2018 12p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎「東海道新幹線とリニア中央新幹線」 葛西敬之 2016 8p (D.2760地区大会記録誌)
- ◎「『無言館』のこと－戦没画学生が伝えるもの」 窪島誠一郎 2018 12p (D.2590地区大会の記録)
- ◎「サービスの極意」 田崎真也 [2018] 24p (D.2530地区大会記念誌)

ロータリー文庫